



中部電力

熱可塑性CFRP急速加熱機

当社開発品が トヨタ技術開発賞 を受賞



表彰

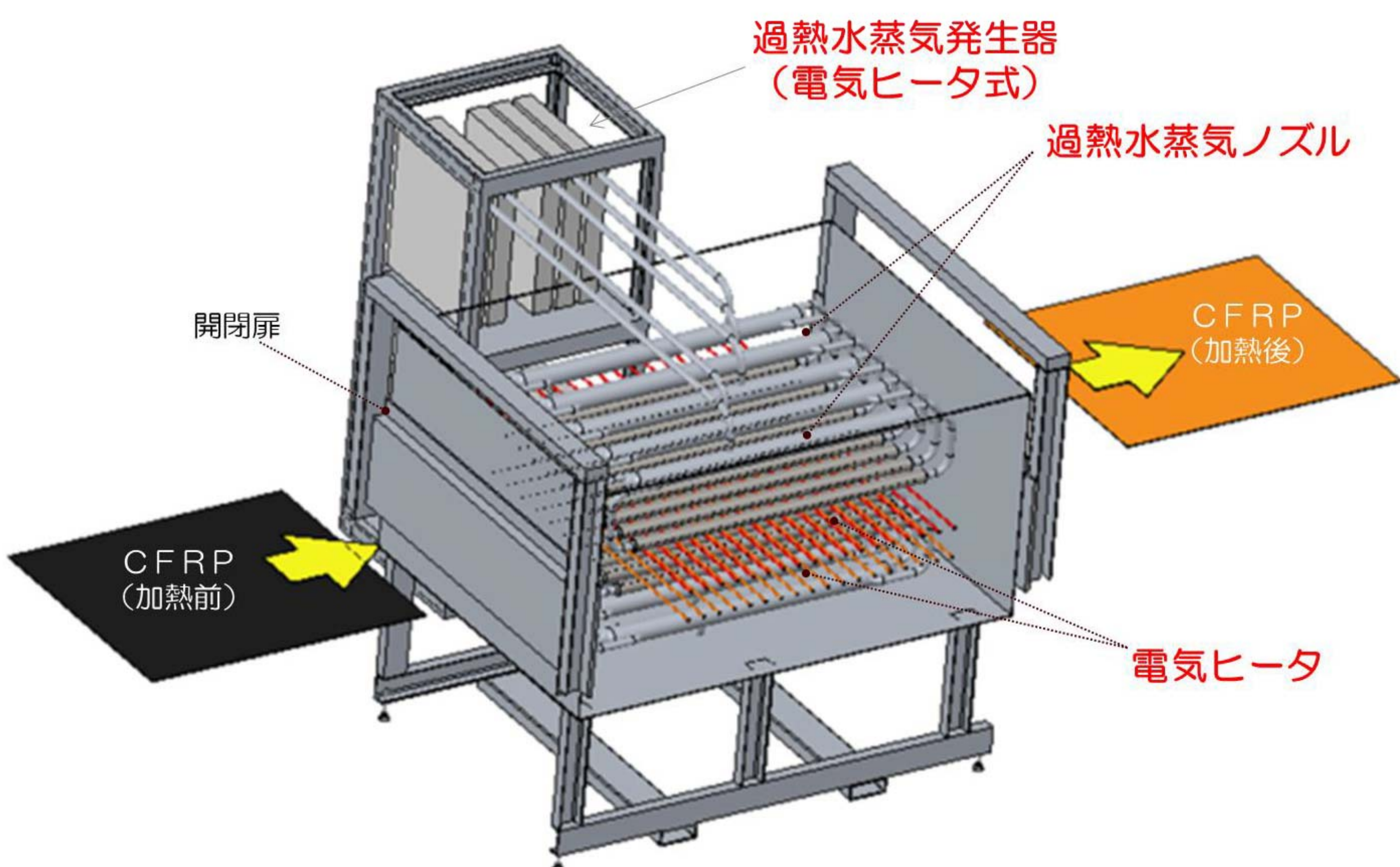
- 2015年にエネルギー応用研究所が開発した「超高速昇温コンパクト炉」を改良した装置が、その優れた省エネ性と生産性が高く評価され、共同研究先の豊電子工業と共同で、トヨタの「技術開発賞」を受賞しました。
- 同賞は、最新技術によりトヨタの商品力向上に大きな成果をあげた仕入先に贈られるものです。
- これまで、自動車部品、設備、材料などのメーカーが主な受賞企業でしたが、電力会社が受賞するのは初めてです。

開発

- 今回は、エネルギー応用研究所と販売カンパニーが協力して、開発一体型ソリューションに取り組みました。
- 開発一体型ソリューションとは、省エネや省コストといったお客さまのニーズに対し、お客さまと当社が一体となって、試験を繰り返すなどして、課題解決していく営業手法のことです。

効果

- 開発一体型ソリューションの知見を基に、エネルギー応用研究所が基本設計を行った「熱可塑性CFRP急速加熱機」が、2017年にトヨタ元町工場のCFRP(炭素繊維強化樹脂)の加熱工程に導入されました。
- 従来と比較して、エネルギー使用量を約80%削減、加熱時間を約70%短縮するなど、省エネルギー性と生産性の大幅な向上を実現しました。



熱可塑性CFRP急速加熱機



贈られた表彰状と楯

開発者の
ひとこと



おさ
長 伸朗

トヨタ様のご要望にお応えするために、販売カンパニーと協力して、トヨタ様の技術者と一緒になって開発一体型ソリューションに取り組みました。今回のトヨタ様からの表彰は、技術者・研究者として最高の栄誉であると思っています。